

いまだ感染拡大の勢いは衰えず、コロナ禍の収束が見通せない中、企業は出勤7割減を求められるなど、より柔軟な働き方へのシフトを迫られています。

こうした「新常態」にあっても持続的な成長を実現していく切り札がデジタルテクノロジーであることは間違いありませんが、その急場の打ち手には大きなリスクが伴いがちです。例えば、テレワークでサイバー攻撃の足がかりはホームネットワークや公衆Wi-Fiへと多様化し、それに伴い組織内へ侵入されてしまうリスクは高まっています。

組織を守る壁を高くする従来型の境界防御に代わって「ゼロトラスト」モデルに期待が寄せられていますが、それも万能ではありません。標的型攻撃であれば、入口対策、内部対策、出口対策という攻撃者の行動フェーズに応じた多層防御によって被害の拡大を遅らせることができ、多層防御が効果的な対策であることに変わりはありません。また、企業は「人」によって成り立っています。

経営層のリーダーシップの下、企業文化を変え、社員一人ひとりの意識を高めていくことがサイバー攻撃に強い企業への近道でもあります。サイバーセキュリティのリスクは業界ごと企業ごとに異なります。ただ闇雲に対策を打ってもその効果は低く、被害の真の原因を見極めることが大切となるでしょう。**Security Week冬では、より実戦的で投資対効果の高いセキュリティ対策について議論していきます。**

イベント概要

開催概要

開催予定日 : 2021年11月下旬 ※調整中

イベント形式 : 集合型オンラインセミナー
(Live配信)

事前申込 : 約800名想定

視聴者参加費 : 無料

想定来場者 : 経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

告知/集客 : @IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブを中心とした当社媒体

主催 : @IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
(以上、アイティメディア株式会社)

運営 : アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

オンラインセミナー 画面イメージ

The screenshot shows the interface for the ITmedia Virtual Forum ITmedia Security Week Spring Day 3. The main content area displays two special speeches:

- special speech 【特別講演⑤】 13:00~13:40**
デジタル庁、クラウドバイデフォルトを進める政府のセキュリティ対策現状と課題
内閣府 政府CIO補佐 元東京地方裁判所 長官補佐 細川 義洋 氏
Live Viewing 視聴は-5.5
- special speech 【特別講演⑥】 15:10~15:50**
利用者数 800 万人突破の「家族アルバムみてね」に学ぶクラウドセキュリティの勘所
株式会社エディオン みてね事業部 開発グループ SRE チームリーダー 清水 勲 氏
Live Viewing 視聴は-5.5

At the bottom, a banner reads: **Present!** 視聴 & アンケート回答で Amazon ギフト券をプレゼント

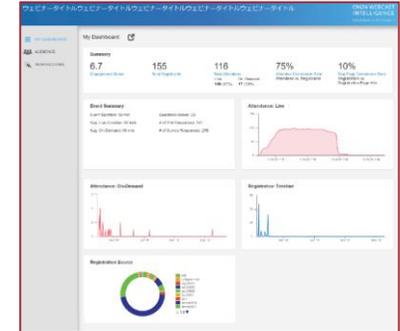
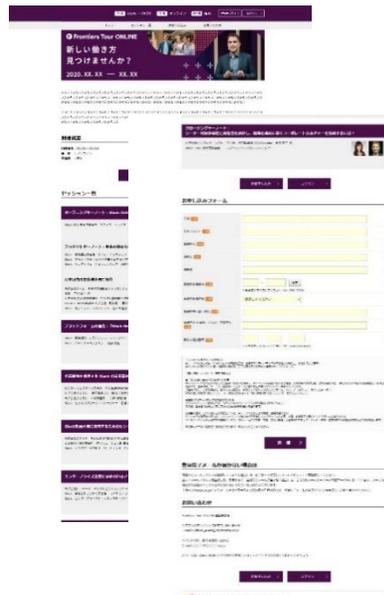
Live Webセミナー 全体図

集客

申込

オンライン
セミナー
(Live配信)

イベント
レポート



アイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

Live Webセミナー 画面イメージ

▼セミナー会場 エントランス画面 ※画面レイアウトは過去実施のものです。



イベントタイトル・概要

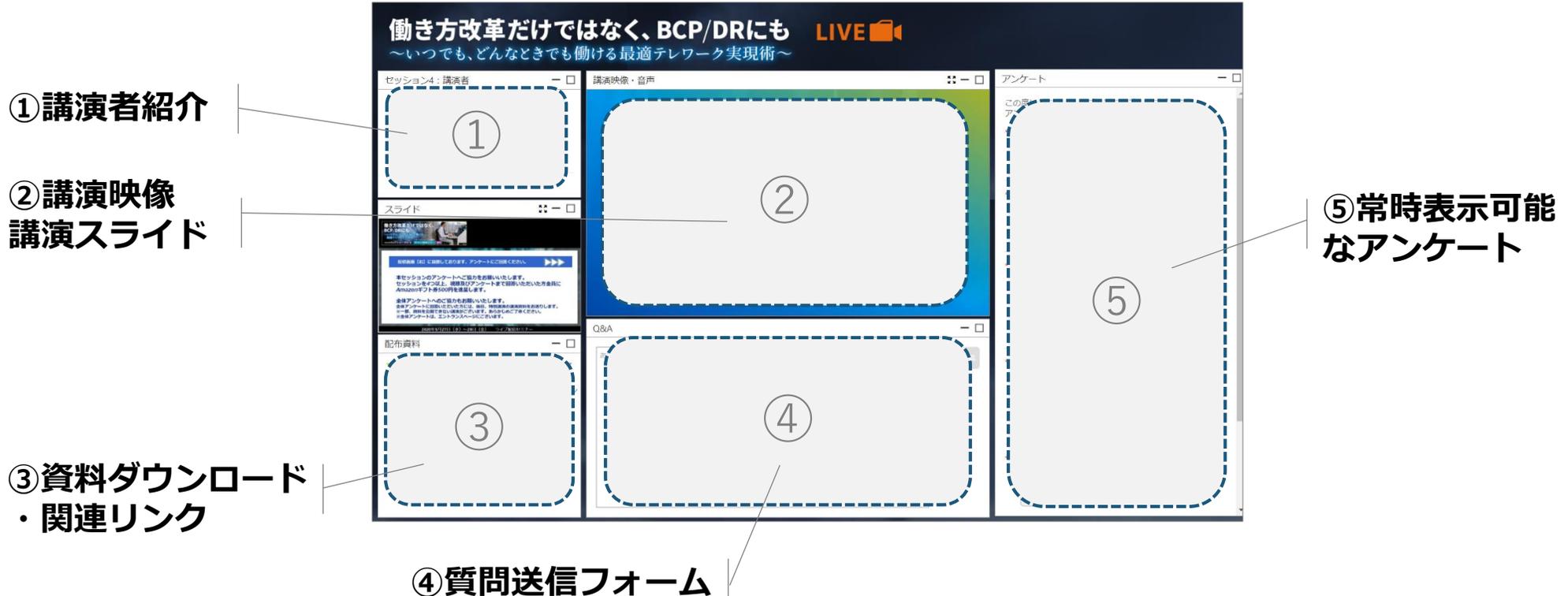
ゾーン紹介

セッション詳細

クリックで講演/
セッション画面へ



Live Webセミナー 講演/セッション画面イメージ



配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。
※スポンサー様がQA実施を希望された場合のみ

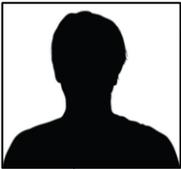
講演配信だけではなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

ゾーン紹介とゲストセッション

もはや避けられない情報セキュリティ事故 ～積極的な情報公開が企業や社会を強くする～

犯罪の主戦場がサイバー空間へと移行する中、もはや個々の企業の対策や努力で事件や事故を防ぐことは難しくなっています。もちろん責められるべきは犯罪集団ですが、事故に遭った企業にもその後の対応が求められてきます。迅速な情報公開によって説明責任を果たすことが、顧客の信頼を失わず、また、サイバーセキュリティ犯罪に強い社会をつくっていくことにつながるからです。サイバーセキュリティリスクとマネジメントゾーンでは、不正アクセスについて継続的に調査結果を手口とともに公表し、その企業の姿勢が高く評価されているディノス・セシールをお招きし、その企業文や取り組みについてご紹介いただきます。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です



株式会社 DINOS CORPORATION
ご担当者様



株式会社圓窓 代表取締役
元・日本マイクロソフト株式会社業務執行役員
澤 円 氏

基調講演案

- ・ 経営に効くITプロの仕事とは ～組織を強くするIT環境の構築
- ・ 「マイクロソフトの7割の社員はITリテラシーが低い」

テレワークが前提の今、セキュリティの“一歩先”とは

コロナ禍から1年以上が過ぎ、多くの企業がテレワークに慣れてきたかと思えます。しかし「テレワークの実施に向けて万全のセキュリティ体制を構築している」と胸を張って言える企業はまだまだ多くないのが実情ではないでしょうか。コストやリソースの問題から、中にはテレワークができる最低限の設備だけ整えて仕方なく運用している企業もあるでしょう。

柔軟な働き方を実現する上で、サンクションITの保護やBYOD端末の管理といったID・端末周りのセキュリティ対策に加えて、IT資産の棚卸しや構成管理、VPN回線のひっ迫の解消、従業員のITリテラシーの向上など解決すべきセキュリティ課題は多岐にわたります。

さらに、ガバナンス管理や組織ルールの継続・改定も忘れてはならないポイントです。テレワークでの業務効率化を成し遂げるためには、旧態依然とした企業文化やルールを変革し、ニューノーマル時代に適応させていく必要があります。

テレワーク導入後の企業の中にはセキュリティ基盤の構築が完了し、オフィスワークと組み合わせたハイブリッドな働き方を試行しているところもあります。本ゾーンでは有識者の視点で、テレワークの地盤固めで重要なポイントの整理に加えて、テレワークの「一歩先」の働き方を実現するためにすべきことを考えていきます。

ゲスト講師候補



名古屋工業大学 教授
田宮 一夫 氏



一般社団法人日本テレワーク協会 専務理事
渡辺 研司 氏

視聴者の抱える課題意識 (想定課題)

- テレワークによってシステム構成が複雑化し、これらのセキュリティ対策やガイドラインといった関連規定への対応ができていない、またはどのように規定などを変更すればいいかわからない
- テレワーク環境を標的にしたサイバー攻撃への対応を何から始めればいいかわからない
- 自社のテレワーク環境がセキュアに保たれているかどうか分からない

対象ソリューション/キーワード

- VPN機器
- VDI製品
- RBI
- DaaS
- IDaaS/認証ソリューション
- リモートデスクトップツール

システムに「弱い鎖」はないか？ つながりを見直す

クラウドだけでも、オンプレミスだけでも守れない時代。システム担当者は今日も悩みを抱えているはずです。このゾーンではクラウドだけでなく、ネットワークやオンプレミスを含めた「システムのつながり」に注目し、複雑化するシステムをいかに守っていくかを考える1日です。テレワークが浸透した今、攻撃者にとって「現在の状況は攻撃のタッチポイントが増え、願ってもない環境だ」と想定してみてください。自社のシステムは盤石だと自信を持てるでしょうか。各セッションを体験することで、自社組織のシステムに「弱い鎖」がないかどうか、横断的にチェックすることができるでしょう。

ゲスト講師候補



株式会社トライコーダ 代表取締役
上野 宣氏



セキュリティリサーチャーズ

株式会社インターネットイニシアティブ 根岸 征史氏
SBテクノロジー株式会社 辻 伸弘氏
piyokango氏 (twitter : @piyokango)

視聴者の抱える課題意識 (想定課題)

- クラウドセキュリティとは何かよく分からない
- クラウドに投資を集中させてしまっており、オンプレミスをないがしろにしている
- ネットワーク機器の最先端情報を知りたい
- そもそも、どこを守るべきかを知りたい
- クラウド設定ミスによる情報漏えいをふせぎたい
- 開発において、クラウド/ネットワークセキュリティをどう実現していいか分からない

対象ソリューション/キーワード

- SaaS、PaaS、IaaS 他クラウド&セキュリティ関連全般 (Office365などと連携する製品も対象)
- ネットワークセキュリティソリューション全般
- ファイアウォール、IDS、IPS、セキュリティスイッチ、ルーター製品
- セキュリティの仮想アプライアンス全般
- VPNソリューション
- クラウド設定チェック関連ソリューション全般
- マネージドサービス全般
- 暗号関連全般 (鍵管理も含む)
- ゼロトラスト・ネットワーク構築系ソリューション全般
- 認証系全般
- CASB (Cloud Access Security Broker)
- CSPM (Cloud Security Posture Management)
- IDaaS (IDentity as a Service)
- SASE (Secure Access Service Edge)
- SDP (Software Defined Perimeter)
- SWG (Secure Web Gateway)
- SOAR (Security Orchestration, Automation and Response)
- UEBA (User and Entity Behavior Analytics)
- SIEM
- BYOD

※提示しているソリューション/キーワードは一例です。詳細は営業担当へご相談ください。

エンドポイントからIT資産管理を考える

引き続き、エンドポイントはシステム防御にとって重要になっています。エンドポイント対策とともに、そこを突破されることも併せて想定しなければなりません。エンドポイント対策だけでなく、最も奪われてはならないデータ保護も、同時に考える必要があるでしょう。

そして、今回はIT資産管理も重要なテーマの一つとして考えます。システムを守るためには「いま、何を持っているのか？」を把握しておく必要があります。現状を把握するために必要なソリューションを取り入れ、その上で戦略を練ることの重要性を、このゾーンで知ることができるでしょう。幅広いソリューションを知り、現場に近い場所からのリサーチ情報を交えつつ、私たちが最も奪われたくないものをどう守っていくかを考えていきましょう。

ゲスト講師候補



株式会社ラック
セキュリティプロフェッショナルサービス統括部 デジタルペンテストサービス部長
兼 サイバー・グリッド・ジャパン シニアリサーチャー
仲上 竜太 氏



株式会社リクルート
Recruit-CSIRT
市田 達也 氏

視聴者の抱える課題意識（想定課題）

- マルウェアをどう防ぐかを知りたい
- 情報漏えいをなんとしても防ぎたい
- 資産を把握していない、脆弱性を把握していない
- 脆弱性が発表されても、何をすべきなのか分からない
- 脆弱性が発表されても、対象となる機器がどこにあるのか分からない
- EDRの使い方が分からない

対象ソリューション/キーワード

- 情報漏えい全般
- 資産管理系全般／脆弱性管理系全般
- マルウェア検知ソリューション全般
- EDR (Endpoint Detection and Response)
- XDRなどxDR（ディテクション&レスポンス）系全般
- EMM (Enterprise Mobility Management)
- IDaaS (IDentity as a Service)
- IRM(Information Rights Management)
- SASE (Secure Access Service Edge)
- SWG (Secure Web Gateway)
- SOAR (Security Orchestration, Automation and Response)
- UEBA (User and Entity Behavior Analytics)
- SIEM
- BYOD
- セキュリティ診断系全般

重要性を増す「ランサムウェア」。求められる最前線の対策は

ランサムウェアはますます高度化、複雑化しています。個人よりも金銭の要求が高額になりやすいという背景もあって企業や組織が狙われる傾向にあり、自動車メーカーが被害にあった事例では特定企業を狙った形跡も見られました。不正に暗号化したデータを復旧させるための「身代金」を要求する手口に加えて、「身代金を支払わなければ窃取したデータを外部に公開する」と脅す「二重の脅迫」も問題になっています。近年ではランサムウェア攻撃を外部に委託する「RaaS」(Ransomware-as-a-Service)といった手法も本格化しつつあります。

また、情報処理推進機構 (IPA) が発表した2021年度版「情報セキュリティ10大脅威(組織)」においても「ランサムウェアによる被害」は1位にランクインしました。ランサムウェアは今や企業の事業活動を阻害する深刻なリスクと言えます。本ゾーンでは、「ランサムウェアの現状」「標的型攻撃への備え」「機密情報漏えい時の対処」などをランサムウェア対策の専門家の知見をお伝えします。

ゲスト講師候補



EGセキュアソリューションズ株式会社 代表取締役
徳丸 浩 氏



ヤフー株式会社 執行役員
中谷 昇 氏

視聴者の抱える課題意識 (想定課題)

- 急ごしらえのテレワーク環境のため十分なセキュリティ対策ができていない
- 標的型攻撃に備えるために始めるべきことが分からない
- 標的型攻撃によって機密情報を窃取された際の対策が分からない
- メール詐欺や内部不正、情報漏えいなどの防止に向けた従業員ITリテラシーの向上

対象ソリューション/キーワード

- EDR (Endpoint Detection and Response)
- ATP (Advanced Threat Protection)
- IT資産管理
- マルウェア対策
- 次世代アンチウイルス NGAV (Next Generation Anti Virus)
- バックアップソフトウェア
- EPP (Endpoint Protection Platform)

※提示しているソリューション/キーワードは一例です。詳細は営業担当へご相談ください。

オンラインセミナー（Live配信） 開催スケジュール

ゾーン	Day 1 サイバーセキュリティリスクと マネジメント	Day 2 テレワークセキュリティ	Day 3 クラウドセキュリティ & ネットワークセキュリティ	Day 4 エンドポイント対策 & IT資産管理	Day 5 経営とランサムウェア対策	Day 6 専用ゾーン
10:00 10:40	モーニングセッション M-1 アンコール放送 (40分)	モーニングセッション M-2 アンコール放送 (40分)	モーニングセッション M-3 アンコール放送 (40分)	モーニングセッション M-4 アンコール放送 (40分)	モーニングセッション M-5 アンコール放送 (40分)	
10:50 11:20	スポンサーセッション1-1 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-1 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-1 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-1 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション5-1 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	
11:30 12:00	スポンサーセッション1-2 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-2 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-2 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-2 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション5-2 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	
13:00 13:40	基調講演1-1 (Live/40分)	基調講演2-1 (Live/40分)	基調講演3-1 (Live/40分)	基調講演4-1 (Live/40分)	基調講演5-1 (Live/40分)	基調講演6-1 (Live/40分)
13:50 14:20	スポンサーセッション1-3 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-3 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-3 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-3 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション5-3 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション6-1 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
14:30 15:00	スポンサーセッション1-4 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-4 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-4 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-4 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション5-4 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション6-2 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
15:10 15:50	基調講演1-2 (Live/40分)	基調講演2-2 (Live/40分)	基調講演3-2 (Live/40分)	基調講演4-2 (Live/40分)	基調講演5-2 (Live/40分)	基調講演6-2 (Live/40分)
16:00 16:30	スポンサーセッション1-5 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-5 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-5 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-5 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション5-5 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション6-3 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
16:40 17:10	スポンサーセッション1-6 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-6 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-6 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-6 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション5-6 (Live/30分) ブラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション6-4 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー

- ・モーニングセッションでは、過去セミナー開催時に人気を博した基調講演セッションをアンコール放映いたします。
- ・会期終了後、全セッションを事前登録者に向けアーカイブ配信いたします。（2週間～1カ月予定）
- ・ライブ配信の会場は当社（アイティメディア株式会社）セミナールーム内のスタジオを予定しております。
- ・ライブ配信当日のご予定の調整が難しい場合は、セミナー動画を事前収録のうえご提出ください。
当該セッション配信時間帯に配信します。

スポンサープラン

メニュー	ダイヤモンドスポンサー (専用ゾーン設置：限定2社)	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	全リスト スポンサー	ゾーンリスト スポンサー
スポンサーセッション セミナー当日、30分のセッション枠をご提供いたします。	○ (ゲスト+2セッション) Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	—	—
スポンサーアンケート 講演時間中に独自のアンケートを実施していただくことが可能です。	○	○	○	—	—
全申込者リストのご提供 セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	—	全申込者 約800名想定	—	全申込者 約800名想定	—
協賛ゾーン申込者リストのご提供 協賛ゾーンの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。※事前申込時に該当ゾーンを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストがご納品対象です	—	—	ゾーン申込者 約350名想定	—	ゾーン申込者 約350名想定
自セッションの視聴者データのご提供および、自セッションのレポートサイトのご提供 自セッションのレポートサイトをご提供します。 セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。	○	○	○	—	—
事前アンケート結果 申込時に立場や選定状況等を尋ねます。これらの回答内容を付随したデータを後日納品します。 見込み客の選別やアポイントを取るための事前情報としてお役立てください。(設問は弊社設定)	○	○	○	○	○
スポンサーロゴ掲載 セミナー告知ページに掲載(貴社サイトへのリンク)します。	○	○	○	○	○
資料配付 セミナー参加者にカタログなど3点までダウンロード提供が可能です。 ※ご講演資料については、貴社セッション内での配布が可能です	○	○	○	—	—
主催アンケート結果・開催報告書 主催アンケートの集計結果を後日ご提供します。(個人情報は含みません)	○	○	○	○	○
※お申込みが申込締切日以降となった場合、各プランとも上記の申込者/来場者データ数に達しない可能性があります。 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。 また、スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたしますのでご了承ください。	¥5,000,000- (消費税別)	¥3,200,000- (消費税別)	¥2,200,000- (消費税別)	¥1,500,000- (消費税別)	¥1,000,000- (消費税別)

■オプション① PR記事 (@IT/ITmedia エンタープライズ/ITmedia エグゼクティブ Special) 上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、タイアップ記事(貴社セッションをフォーカスしたイベントレポート記事も可)を特別価格で提供いたします。※実施メディアをひとつお選びください。 ※本イベントの内容を取材した開催レポートに限りです	¥1,000,000- (消費税別)
■オプション② セッション動画納品 上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。(Live配信セッションのみ/編集なし)	¥50,000- (消費税別)

お申込み締切：2021年9月10日(金)

ダイヤモンドスポンサー（「専用ゾーン」設置プラン） 詳細

編集部企画のゲストセッション+貴社セッション×2枠から構成される
貴社専用ゾーンを設置するプランです。

ポイント

① アイティメディア編集部が貴社専用ゲストセッションを企画

貴社の訴求内容に親和性の高いコンテンツの企画とゲストのアサインを
アイティメディア編集部が担当します

② 貴社ゾーンの事前申込者リストをご提供

貴社専用ゲストセッションを含めた、貴社ゾーン全体の
事前申込者リストをご提供いたします（想定300名想定）※2

ゾーン構成

ゲストセッション
（編集部企画 40分間）



貴社セッション①※1
（30分間）

貴社セッション②
（30分間）

専用ゾーン ご提供内容

- ・ゾーンゲストセッションの企画・セッティング
- ・貴社セッション枠×2
- ・貴社セッションのレポートサイトご提供（視聴者データ）
- ・ゾーン事前申込者のリスト提供（300名想定）※2
- ・事前アンケート結果のご提供
- ・貴社ロゴの掲載
- ・視聴者向け資料データのダウンロード配布（カタログなど3点まで）
- ・主催アンケートの集計結果・開催報告書のご提供（※個人情報なし）

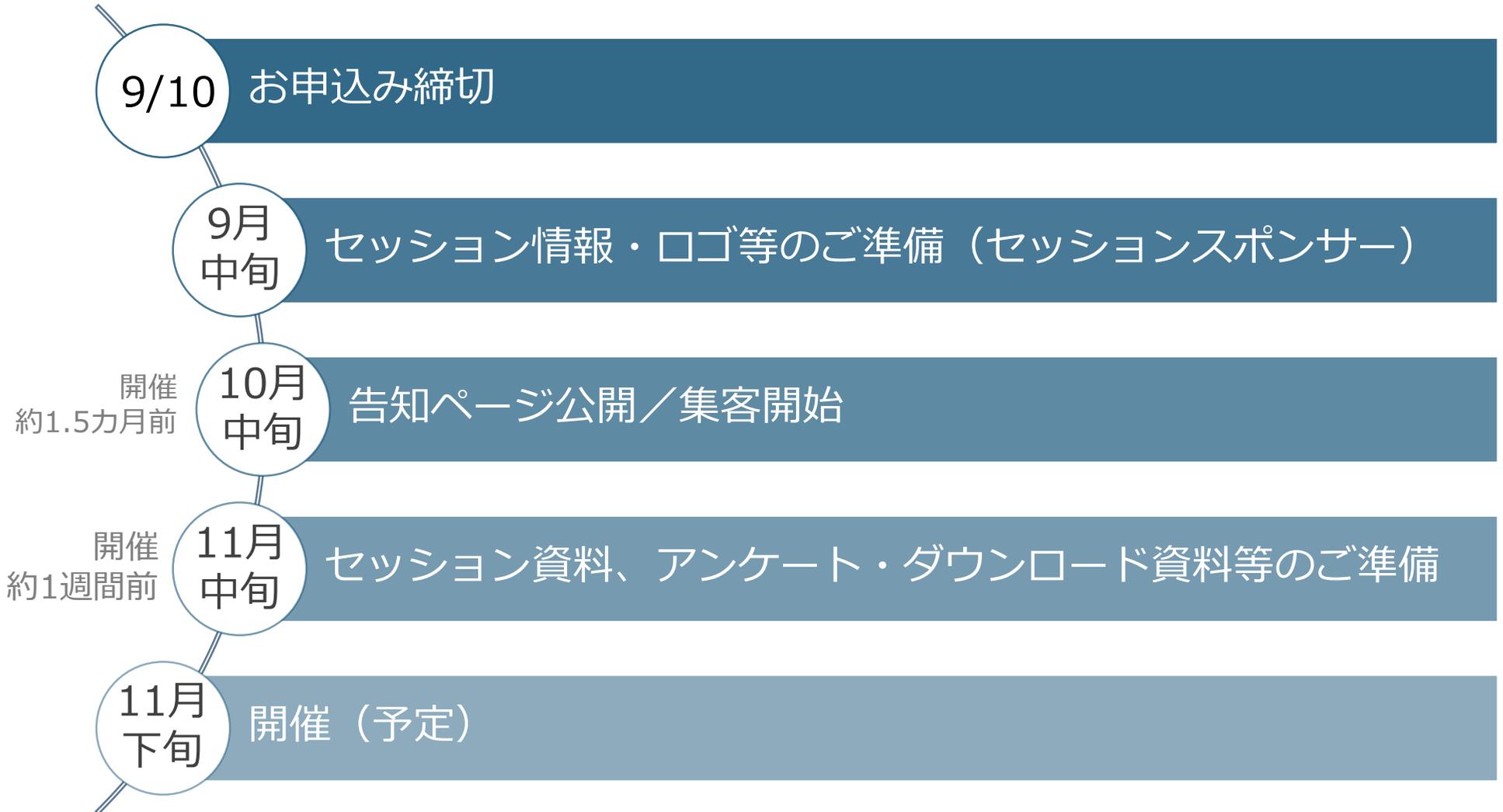
ダイヤモンドスポンサー
「専用ゾーン」設置プラン 限定2社

ご提供価格：¥5,000,000-
（消費税別）

※1：貴社セッションのコンテンツについては貴社にてご用意ください。

※2：全事前申込者リスト納品をご希望の場合は
¥1,000,000-の追加オプションにてご提供可能です。
事前に営業担当までご相談ください。

開催までのスケジュール（予定）



※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

オンラインセミナー ご留意事項

配布資料について

本セミナーでは配布資料としてカタログなどを3点まで、ダウンロードもしくは外部リンクにて配布することが可能です。

3点とは別に講演資料もこちらで配布することが可能です。

- ・資料形式：PDF、リンクURL

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ON24）における障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。ON24は障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報データの取り扱いについて

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ（以下「個人データ」という）を受け渡しの際は「個人情報受領書」に署名をいただきます。

2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

3. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

7. (委託)

貴社で、個人データを業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。

また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。



a t m a r k I T

ITmedia
ITアプライズ

ITmedia
ITエッセイ